

ファームステイ(農家民泊)に 105もの農家の皆さんが取り組まれています。

阿蘇市には、修学旅行などで訪れる都会の子どもたちを受け入れ、一緒に軽作業をしたり、郷土料理をつくり交流して、農業や自然のすばらしさ・厳しさを体感してもらおうファームステイ(農家民泊)に協力されている農家が105軒もあります。昨年度の受け入れ生徒数は、南阿蘇村や西原村など含め、約4,000人と年々増加しています。



ファームステイは、現在、(財)阿蘇グリーンストック(事務所:旧JA永水支所)が窓口となり受け入れ農家と調整を図りながら進めています。

農家の皆さんは、人の子どもを預かるという大変なつとめですが、阿蘇の良さを全国に広めるため、また、将来子どもたちの成長に役立つのであればと善意の気持ちで協力されています。



坂梨 地区	古木	様
5月23日から1泊という短い間		
お世話になり、ありがとうございました。		
最初は少し不安でしたが、すぐに優しく、面白くお話をして頂いたので不安も飛んでいき、楽しく過ごす事ができました。		
初めてのおはぎ作りもいい経験になりました。		
私には弟や妹がいけないので3人はとても可愛かったです。いっぱい笑って楽しませてもらいました。		
とてもいい思い出になりました。		
又、熊本県に行きたいです		

～受け入れた農家の一つひとつで「感動の物語」が生まれています～

阿蘇の素晴らしさを、次世代を担う児童・生徒に伝えていきましょう！



阿蘇グリーンストックグリーン・エコ・ツーリズムセンター担当 諸岡 哲夫

修学旅行の児童・生徒とファームステイ受け入れ農家や農業体験インストラクターをつなぐ仕事をさせていただいています。阿蘇市の旧阿蘇町地区、坂梨地区、手野地区、三野地区、波野地区で、地区毎に受け入れ協議会がつけられ、105軒ほどの登録がされており、それぞれの世話人さんを通してファームステイ受け入れの態勢を整えています。

また、農業体験は酪農牧場体験、あか牛ふれあい体験、源流探索体験、漬物作り体験、薪割りとお菓子作り体験等、阿蘇ならではのプログラムを揃えており好評です。

詳しいお問い合わせは、TEL 35-2488までお願いします。

農業体験を通じて、農業への興味を持ってもらっています



農業体験インストラクター 酪農家 阿部寛樹さん(折戸)

我が家で行う農業体験は主に牛を使って行います。搾乳をしたり子牛に哺乳をしたり、バター作りやロールころがし、人工授精や去勢を見せることもあります。牛の体温を肌で感じ、子牛に手を吸われ、酪農家が牛乳を生産するためにどんな努力をしているか少しでもわかってもらえればと思って行っています。牛乳は工場で作られているのではなく牛が子牛のために出していること。パックに入った牛肉は殺された牛の肉であること。牛がした糞やおしっこは堆肥となり作物の栄養になること。誰もが知っていることを今の子供たちは知りません。少しでも農業に興味を持ってもらい、阿蘇の楽しい思い出が少しでも増えるように頑張っています。

子どもたちの喜ぶ顔が私にとっても喜びです



受け入れ農家 古木春美さん(坂梨)

上の手紙は、我が家で受け入れた神戸の中学生から送られてきたものです。この時は4人の生徒を受け入れました。

畑で採ってきたもので、のっぺ汁など阿蘇独特の料理を作るなど、いろんな話をしながら交流を重ねていくと、どんどん子どもたちの表情変わってくるのがわかります。普通の修学旅行は観光して帰るだけですが、地方の農家に泊まる旅は生涯忘れることのできない体験だと思います。

子どもたちが送ってくれたお礼の手紙は私の宝ものとして、これからも頑張っていこうと思います。

※なみの高原やすらぎ交流館でも農業体験を受け付けています。ご希望の方はTEL23-0555まで！